

いるまの企業 プチ自慢

第28回 協同特殊鋼線(株)

狭山ヶ原11-3

☎2934 - 6111

設立 昭和60年1月

<http://www.kyoutoku.co.jp/>

協同特殊鋼線(株)のルーツは、狭山ヶ原に昭和41年に造成された武蔵工業団地の第一期分譲から現立地に工場を構えていた、(株)特殊鋼線製作所にさかのぼります。その後、大阪の協同シャフト(株)の傘下となり、昭和60年1月に現社名にて発足した社歴34年目の比較的若い会社です。

平成19年にはお隣の日高市に新工場を建設



コイル製品



棒鋼製品

し、一部設備を移設しました。大手鉄鋼メーカー各社から調達した「線材」という鋼材に両工場にて表面処理・機械引き抜き・熱処理加工等を実施し、お客様からの要求サイズ・仕

様の、コイル・棒鋼製品に仕上げます。

当社製品の納品先の80%は自動車業界で、ホイルナットやサスペンション用懸架ばね等の重要保安部品に成形されます。その他、鉄骨・橋梁用締結ボルトや建機・農機用部品等、さまざまな用途にも当社製品が採用されています。

社員数は97人で、平均年齢は36歳と若く、その60%強が入間市民という地域密着企業です。小さな子どもを持つ社員も

多く、入間市イクボス応援プロジェクトにも参加し、社員の育児参加を積極的に支援しています。また、余暇



本社工場

活動ではフットサルチームが上藤沢のフットサルコートで、月2〜3回平日終業後に練習・試合を行っています。また軟式野球チームが入間市野球連盟のBクラスに所属し、毎年春と秋に黒須運動場で開催される、連盟主催の大会に参戦しています。

今後、入間市工業会・入間市商工会を中心とした地域団体活動にも積極的に参加しながら、特殊鋼鋼材という高い品質管理を求められる基幹素材での「ものづくり」を通じて、地域に一層貢献していきます。